



緑と活力のある ふれあいのまち小平

平成14年(2002年) 8/5

市報 こだいら

第989号 発行：小平市 編集：企画財政部広報広聴課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)
◇こだいらホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222



夏休みは
児童館で遊ぼう

花小金井南児童館



ふるさと
人まち景

こだいらの子どもたちが FC東京の選手を応援

サッカーJ1リーグ・FC東京の小平グラウンド(大沼町二丁目)では、7月26日(金)から夏休みのイベントが行われ、グラウンドには、選手の練習を声援する子どもたちが、市内から集まっています。練習日には、選手を近くで見ることができます。FC東京をいっしょに応援しませんか。

プラスチック容器、せん定枝などの 資源物を順調に収集



ブルーベリー畑に敷かれた
せん定枝チップ



せん定枝の粉砕



粉砕された枝(チップ)

4月から資源化をさらに進めるために市内全域で始まった、プラスチック容器の分別収集は順調に進み、6月までの3か月間で13万リサイクルセンターに搬入され、リサイクルされていきます。また、燃えるごみの減量と緑の保全のために始まった、せん定枝のチップ化事業では、6月末までに、

8月5日以降、住民票に、新たに住民票コードを付したことを郵送でお知らせします。

住民票コードとは

住民票に記載される1けたの住民票コードは、連続した番号ではなく、コンピュータにより自動的に付番された番号です。住民票コードは、ひとりの住民にふられませんが、通知は、世帯ごとに行われます。また、この通知により必要となる手続きはありません。住民票コードは、申請による変更することができま

住民票コードのお知らせを 発送します

8月から住民基本台帳ネットワークシステム(以下「住民ネット」)の運用を開始します。住民ネットは、各種行政手続きにおける皆さんの負担を軽減し、サービスの向上を図るために、全国の市区町村と都道府県、全国センターを専用の通信回線で結んだ、本人確認を効率的に行うシステムです。

8月5日から、システムが一部稼働し、国の行政機関などへの届出や申請に住民票の写しの添付が順次不要となります。また、平成15年8月からは、住所地以外の市区町村でも住民票の写しの交付が受けられたり、引越越しの際に転入・転出の手続きが簡素化されるほか、住民基本台帳カードを希望すれば、身分証明書としても利用できるようになる予定です。

住民ネットが稼働すると、住民基本台帳法では、次の保護対策が講じられています。

住民票の写しを忘れてしまったら、住民票の写しを再発行する場合は、法律で定める一部の届出などで住民票の写しが順次不要になります。

と比較して、2,777(4%)減少しました。これは、家電リサイクル法の実施により、粗大ごみの搬入量が減少したこと、事業系ごみの有料化に伴う自己処理による減量効果が出たことが主な理由です。また、二ツ塚廃棄物広域処分場への埋め立てごみの搬入量ですが、平成13年度も搬入割りが大幅に下回ることができました。小平市は谷戸沢、二ツ塚廃棄物広域処分場開場以来、5

年連続して多摩地区でも上位の貢献をすることができました。皆さんの協力をいただき、ありがとうございます。また、今後とも循環型社会の実現のため、効率の良い仕組み作りに取り組んでいきます。ごみの減量とリサイクルの推進事業に、ご協力をお願いします。

2期)の納期限：9月2日
※納付は、納期限内にお願いします。
※納付は、便利で納め忘れのない口座振替をご利用ください。
◇国民健康保険税(第2期)の納期限：9月2日
◇市民税・都民税の普通徴収(第2期)の納期限：9月2日
◇国民健康保険税(第2期)の納期限：9月2日

個人情報の保護
小平市個人情報保護条例を制定し、個人情報の取り扱いについて、適正な管理、利用および提供の制限などの規定を設け、個人情報の保護に努めています。

住民票コードの通知が8月中旬に郵送される場合は、問い合わせください。
問合せ 市民課 ☎(34)6(9)520

戦没者・原爆死没者の慰霊と
世界恒久平和祈念の黙とうを
8月15日は、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です。毎年日本武道館では、全国戦没者追悼式が行われ、当日の正午には、先の大戦において亡くなった方々を追悼し、平和を祈念するため1分間の黙とうが行われます。また、8月9日には、広島市で、8月9日には長崎市で、原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和の実現を祈念

小平市非核都市宣言
世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。
昭和58年3月3日
小平市議会